

挨拶

創立 25 周年に当たって



東京八王子プロバスケットボールクラブ
会長 田中 信昭

東京八王子プロバスケットボールクラブは、東京八王子南ロータリークラブをスポンサーとして、1995年10月に設立され、本年で25周年を迎えました。「第一線から退いた専門的職業人や実業家達が、その豊かなキャリアを活かしながら互いに親睦を図り、社会に貢献していこう」とその趣旨が記された名刺を私も入会以来使わせてもらっていますが、改めて心に刻み直しているところです。新型コロナウイルスによるパンデミックという、現在地球上に住んでいる大部分の人間がかつて経験したことのない大惨事に見舞われて右往左往している状態が続いており、未だ終息の目処も付いていない現状です。本来なら華々しく開催されるはずであった東京オリンピックも影が薄くなってしまうました。我がクラブも創立25周年を記念して、当初はかなり大がかりな次世代を育てる音楽祭を計画していました。取りあえず、この10月3日の記念日には、その思いだけは活かして、出場予定校に活動奨励品贈呈ということにし、音楽祭は来年3月に延期しました。

地域への貢献は活動の一大目標であります。「生涯学習サロン」はクラブ設立以来毎年継続してきた事業です。昨年度は残念ながら中止のやむなきに至りましたが、会員自身が講師になって市民の皆さんと話し合うサロン形式のもので、毎年12～16講座開いてきました。八王子「宇宙の学校」は10周年を迎えることになり、毎年多くの学童が、その親御さんと共に楽しく宇宙の勉強をしたり、共に工作をしたり、毎年会場に溢れる熱気は我々老人の気力向上にも繋がっています。これらの活動を含めて月に一回の例会と毎月欠かさず発行されてきた「プロバスだより」やホームページで相互交流を図ってきました。又、月一回の例会に加えて、多くの同好会活動で相互交流の輪を拡げています。一例を挙げれば俳句の会では毎月欠かさず続けてきた句会は100回を超え、毎年発行する自選句集も第7集になりました。

2年先には、全日本プロバス協議会の総会が当地八王子で開催される予定で、全国からの多くのプロビアンをお迎えすることになります。それまでにコロナ危機に対する目処が立っていることが前提ではありますが、このように25年間継続し発展できたのも、諸先輩方の努力と地域の皆様方のご支援の賜と心から感謝する次第です。しかしながら当年80歳になる私が丁度この会の平均年齢というのはいささか心配であります。5年前の会長・永井昌平さんが当時のご挨拶の中で指摘されていますが、現状維持とは緩やかな後退を意味すると。アイザック・ニュートンは当時流行していたペストを逃れての休暇中に「万有引力」を発見したと聞きます。全く未知のコロナ危機の最中ややもすると落ち込みがちになる気持ちを奮い立たせて、何とか「楽観力」を見失わないように気持ちを強く持ち続けたいものです。次なる飛躍に備えて！

創立 25 周年を迎えて



東京八王子プロバスケットボールクラブ
創立 25 周年記念事業委員会
委員長 杉山 友一

当クラブ創立の平成 7 年は、阪神・淡路大震災、オーム真理教による地下鉄サリン事件、全日空 857 便ハイジャック事件など、耳目を驚かす大事件の発生した年でした。そして今、あれから四半世紀、令和新時代を迎えて、今度は新型コロナウイルス感染症という超大事件に遭遇致しました。何か不思議な区切りの縁を感じております。

さて、そんな世相の中で当クラブは今日ここに 25 周年という大きな節目を迎えました。思えばこの間、私共では一貫して山と平野の触れ合う郷土八王子の町にプロバスの旗を掲げて参りました。そしてその旗印の実践として、創立以来 5 年毎を大きな節目として、地域社会とのお縁に感謝して記念事業を実施して参りました。つきましてはこの 25 周年におきましても昨年度の準備委員会の段階から、青少年奉仕の領域で地域社会に報いたいとのスタンスを確認し、そんな中で決定されたプログラムが「次代を育てる はばたけ未来！！音楽祭」(八王子市文化芸術振興条例協賛事業) (6 頁ポスター) であります。この事業のコンセプトは、子供たちは家庭と地域で育てるという思いを確認して、「つながろう 人の輪 地域の輪」とし、その旗の下に物心両面からこの事業を支えて下さる幾つもの共催団体、協賛団体、協力事業所、後援機関・団体の連鎖が出来上がりました。そのど真ん中に私たちの東京八王子プロバスケットボールクラブが位置しておりました。ところが、しかしながらです、9 分 9 厘準備が完了し、後は当日を待つだけとなった段階で、ご承知の通り新型コロナウイルス感染症のパンデミックが起きてしまいました。私共クラブとしては、多くの小・中学生やそのご父兄が大会場に集い音楽活動を行うことの危険性を危惧した次第です。新型コロナの第 2 波、第 3 波の襲来が予想される中で、断腸の思いで事業の中止を決断いたしました。プロバスケットボールクラブの立場から子ども達に直接エールを送る絶好の機会を失い慙愧に耐えません。

さて、こうした状況を踏まえて、私共はこの 25 周年企画の核心部分を残すべく、事業予定日の 10 月 3 日に「市内小・中学校音楽活動優秀校にエールを送る会」、テーマ「次代を育てる はばたけ未来！！」を開催致しました。当日は市長、教育長をはじめ行政からも多数のご臨席を頂き、また参加予定の各小・中学校からは、校長先生や部活顧問教師の皆さんにご参加を頂きました。会場では、プロバスケットボールクラブから、市立松が谷中学校吹奏楽部に吹奏楽器が贈られ、市立清水小学校ブラスバンド部・市立上柚木小学校合唱部の各生徒の皆さんには事業協力団体の八王子織物工業組合様から舞台用の特製ネクタイが贈られました。今回は、子供たちの夢を乗せた大きな舞台をお見せできませんでしたが、今後はコロナ禍の状況推移をみながら、引き続き子ども達の夢を形にしてゆく為のお手伝いを継続して参ります。長きに亘りご支援くださいました各方面関係者の皆様方、会員同志の皆さまに衷心より厚く御礼と感謝を申し上げます。各々関係者の皆様方、会員同志の皆さまに衷心より厚く御礼と感謝を申し上げます。長きに亘りご支援くださいました各方面関係者の皆様方、会員同志の皆さまに衷心より厚く御礼と感謝を申し上げます。

祝 辞

創立 25 周年を祝して



八王子市長 石森 孝志

東京八王子プロバスクラブ創立 25 周年、誠におめでとうございます。また、歴代の会長をはじめ会員、関係者の皆様方の御尽力により、節目となる四半世紀を迎えられ記念誌が発行されますことを、心よりお祝い申し上げます。

東京八王子プロバスクラブは、豊富な専門知識や社会経験を持つ方々が集まり、互いに親睦を図り、社会に貢献していこうという趣旨から 1995 年に創立され、それぞれの分野において、自ら学び続けるとともに、その技能をより多くの方々に広められる活動を継続してこられました。会員の皆様方が人生で培い育んできたものは、東京八王子プロバスクラブの貴重な財産であり未来への糧となるもので、その名の由来が正鵠を射ていると思ひ巡らすところです。

これまで、本市が基本理念として掲げる「市民・地域とともに高めあう 学びのまち八王子」による生涯学習施策の推進にも多大なる御貢献をいただいておりますが、本年は新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、様々な行事が中止とならざるを得ない状況にあることは、残念ではありません。

このような状況下ではありますが、皆様の今までの功績に思いを馳せますと、創立当初から毎年開催されてきました「生涯学習サロン」では、会員の皆様方が経済、歴史、文化等の専門知識で幅広い講座を開設され、市民の学びを深めるとともに、交流と親睦を図る場としても貴重な役割を担っていただいております。また、「宇宙の学校」は、回を重ねるごとに本市を代表する事業へと発展しつつあり、将来を担う子どもたちが、宇宙を始めとする科学に興味をもつ貴重な機会となっております。そして、地域社会活動の面でも、「八王子いちょう祭り」では受付ガイドなどのサポートをいただいているほか、「健康フェスタ・食育フェスタ」にも御参加と御協力をいただいておりますことに深く感謝申し上げます。新型コロナ禍後の様々な事業の再開に向け、この渦中においても未来へ希望を絶やさず、この試練を共に乗り越えてまいりましょう。

本市におきましては、令和 2 年 6 月に、「霊気満山 高尾山 ～人々の祈りが紡ぐ桑都物語～」が東京都で初めて「日本遺産」に認定されました。日本百名城に選ばれた「八王子城跡」など、29 件の構成文化財をはじめ、地域に数多くある伝統文化を大切にし、活かしてまいります。皆様方には引き続き本市の文化振興・生涯学習の充実へお力添えをいただくようお願い申し上げます。結びに、創立 25 周年を契機といたしまして、東京八王子プロバスクラブの益々の御発展されますことと皆様方の御健勝を心から祈念申し上げ、お祝いの言葉とさせていただきます。

創立 25 周年によせて



東京八王子南ロータリークラブ
会長 神山 治之

東京八王子プロバスクラブ創立 25 周年、誠におめでとうございます。

東京八王子プロバスクラブ様は私共東京八王子南ロータリークラブの 10 周年記念事業として当時、増田禎司会長の元、10 周年式典実行委員長の杉山友一様とのご尽力により誕生しました。杉山様は今年度プロバスクラブ創立 25 周年事業委員長としてご活躍されております。本日この様な日を迎えられるました事、心より嬉しく思っております。

プロバスクラブ様の代名詞とでもいうべき「生涯学習サロン」は、専門職や実業家の会員の皆様が親しみやすく分かり易い講座を、サロンという形式で気軽な雰囲気を醸しながら市民と共に学習する事で、地域社会に広く理解と評価を得られたと伺っております。

もう一つの核となる事業の「宇宙の学校」は、創立 20 周年時に「輝く宇宙 八王子展」を開催された事も記憶に新しく、続けて八王子市内で実践する地域奉仕事業であり、かつ市内の児童・生徒たちに宇宙や科学への好奇心を膨らませる素晴らしい青少年奉仕事業でもあります。これらの事業は親クラブの、我々八王子南ロータリークラブとしても大変誇りに思い、大きなそして有意義な事業でもあります。

本年は新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響で、様々な行事が行えず大変な思いをされている事だと心中お察し致します。クラブ運営も記念式典開催も困難な状況に直面している中、田中信昭会長のリーダーシップと持田律三幹事のサポートで、去る 10 月には創立 25 周年記念事業「小・中学校音楽活動優秀校にエールを送る会」が開催されました。私も参加をさせて頂きましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止の為、参加者の人数調整や、子ども達の演奏はビデオ映像での手配等と、防止策を取られての開催には沢山のご配慮を感じました。今この様な状況だからこそ、奉仕活動を止めるのではなく継続していく事が大事だと考えます。今回の創立 25 周年事業は、まさしく小中学校学生にエールを送る素晴らしい事業だと感銘を受けました。

今、私たちは、新型コロナウイルスの感染拡大という大きな危機に直面しております。しかし、必ずこの危機を克服し、乗り越える事が出来るものだと信じております。

今後も 30 周年に向け皆様のご活躍を心より応援しております。

最後に東京八王子プロバスクラブ様のさらなるご発展と、会員の皆様のご健勝ご多幸を祈念申し上げます。お祝いのお言葉とさせていただきます。

創立 25 周年を祝して



全日本プロバス協議会
会長 古賀 靖子

東京八王子プロバスクラブが昨年 10 月に創立 25 周年を迎えられ、衷心よりお祝い申し上げます。また、田中会長様をはじめ会員の皆様のご協力のもと、この度記念誌が発刊されますことに重ねがさねお慶び申し上げます。

昨年年初から新型コロナウイルスの感染によって、全世界、殊に欧米諸国では、かつてないほど、経済・医療・交通等のあらゆる分野で機能破綻に追い込まれています。NHKの報道によりますと、日本で感染者数、重症者数が欧米ほど多くないのは、交差免疫（季節インフルエンザ＋新型コロナウイルス）の保有者が多いからだそうですが、第 3 波に突入する事態となり、私ども高齢者の感染率が第 2 波より高いという報道もなされています。収束の目途もつかないウィズコロナの中で万全を期して活動いたしましょう。

創立 25 周年記念事業は、杉山準備委員長を先頭に令和元年 7 月から準備が着々と進められ、創立以来掲げる地域への知的貢献で「次世代を育てる音楽祭」を計画されましたことを会報で存じておりました。ところが、コロナ禍の影響で 10 月 3 日の記念事業は「次世代を担う地域の子どもたちにエールを送る会」に変更されて開催、見事なつどいだったそうで、畏敬の念に打たれました。

創立以来、歴代会長様がスローガンを掲げられているのをはじめ、平成 7 年の創立早々から検討しておられました「生涯学習サロン」を平成 9 年から開催。更には平成 23 年度から青少年の科学する心を育むため「宇宙の学校」を設立される等、地域奉仕活動は全国のプロバスクラブのお手本となっています。

また、貴クラブの立川富美代様は、全日本プロバス協議会が平成 16 年 5 月の発足時から平成 30 年 11 月までの 14 年間、副会長（うち 1 年間は会長代行）の重責を担われる等のご活躍を頂戴しました。

更には、令和 4 年秋に全日本プロバス協議会の記念すべき第 10 回総会を八王子プロバスクラブが担当していただくことに決定いたしております。期待しています。どうか、よろしく願い申し上げます。

最後になりましたが、貴クラブがより一層、八王子地域の発展に寄与されますことを祈念いたします。

I. 東京八王子プロバスクラブ創立 25 周年記念事業

1. クラブ創立 25 周年記念事業の中止

新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受け、やむを得ず中止の状況に追い込まれた当事業の広報チラシである。事業は八王子市教育委員会の協力を得て、八王子市文化芸術振興条例の協賛事業としての展開を図る予定であった。出場予定の学校は、小学校の部では、地域に溶け込む地域連携運営学校の代表である「八王子市立清水小学校ブラスバンド部」、NHK全国合唱コンクール東京都の常連校である「八王子市立上柚木小学校合唱部」、中学校の部では、吹奏楽の東日本大会の常連校である「八王子市立松が谷中学校吹奏楽部」、そして、高等学校の部では、和太鼓演奏で受賞歴も多く東京地区のリーダー的存在である「東京都立松が谷高等学校和太鼓部」、更に、国内演奏、海外演奏など経験豊かな「八王子学園八王子高等学校吹奏楽部」の生徒さんたちでした。そして最後に、若い世代に心を込めて「東京八王子プロバスクラブ 男声合唱団 シニア・ダンディーズ」がエールを送る予定でした。

『 幻のプログラム 』

東京八王子プロバスクラブ創立 25 周年記念事業
(八王子市文化芸術振興条例協賛)

次代を育てる はばたけ未来!! 音楽祭

「つながろう 人の輪 地域の輪」

2020/10/3(土) 12:30 開場、13:00 ~ 16:00

いちようホール(大ホール) 無料(整理券有・全席自由)

※入場整理券は出演校ほか各関係団体に限定して配布します
※乳幼児など、就学前のお子さまのご同伴・入場はご遠慮ください



主催：東京八王子プロバスクラブ 共催：八王子ボランティアネットワーク (創立 20 周年)
 協賛：八王子市青少年対策地区委員会、八王子母の会、高尾母の会、南大沢母の会、
 国際ソプラニスト八王子、八王子東京パイロットクラブ、マルベリー東京パイロットクラブ
 協力：八王子織物工業組合、株式会社環境管理センター
 後援：東京八王子南ロータリークラブ、東京八王子北ロータリークラブ、八王子市・八王子市教育委員会

新型コロナウイルス禍につきましては一日も早い終息が望まれますが、この際、折角企画した音楽祭を中止するのは残念至極との考えから、出来ることなら来春早々にも計画規模を縮小してでも当事業計画の趣旨を実現させたいと目論んでいるところでもあります。

なお、今回の公演中止に伴い、クラブとしては既定の 10 月 3 日に「小・中学校音楽活動優秀校にエールを送る会」を開催し、活動奨励の趣旨から、小学校の部に参加する学校には「八王子織物工業組合」様から特製の舞台用ネクタイを、中学校の部に参加する学校には東京八王子プロバスクラブから吹奏楽器が贈られました。

2. 「小・中学校 音楽活動優秀校にエールを送る会」の開催

「次世代を育てる はばたけ未来！！」

令和2年10月3日、八王子学園都市センターイベントホールで開催された。

会長挨拶

東京八王子プロバスクラブは東京八王子南ロータリークラブをスポンサーとして1995年10月に設立されて以来25年目を迎えることができました。私たちはプロバスクラブの主旨である豊富な経験と知識を活用した地域社会への貢献に努めてまいりました。創立と同時に開始した「生涯学習サロン」、9回を重ねました八王子「宇宙の学校」など多くの活動が地域に定着してきております。また、近隣プロバスクラブとの交流もますます盛んになり、定期的な会合、良き懇親の場となっております。

当クラブ内には10を超える同好会のそれぞれが大変活発で、クラブ内の絆を深めております。こうした発展も皆様方のご支援と諸先輩の方々のご尽力によるものと心から感謝しております。

本日は25周年という節目に「小・中学校 音楽活動優秀校にエールを送る会」を開催することとなりました。次世代を担う若者に「はばたけ未来！」と励まし皆様方とともにエールを送りたいと思います。東京八王子プロバスクラブは今後も地域への奉仕活動を進めて参りますので、今後、ますますのご指導、ご鞭撻をお願い申し上げます。

会長 田中 信昭



ご来賓・ご招待者のご紹介

司会者より、本日お招きしたご来賓の皆様方が紹介されました。

八王子市長	石森 孝志 様
八王子市教育委員会教育長	安間 英潮 様
八王子市生涯スポーツ部 部長	音村 昭人 様
八王子市立松が谷中学校 校長	佐藤 ひろみ 様
八王子市立清水小学校 校長	町田 浩一 様
八王子市立上柚木小学校 校長	町田 千恵美 様
八王子織物工業組合 理事長	檜崎 亮一 様
八王子織物工業組合 副理事長	黒澤 真一 様
八王子南ロータリークラブ 会長	神山 治之 様

事業実行委員長挨拶

皆さま今日は、事業実行委員長の杉山です。本日はお集まりを頂き誠に有難うございました。とりわけ石森市長をはじめご来賓ご招待者の皆様にはご多用中にも関わりませずご臨席を頂き、改めて厚く御礼申し上げます。

さて、先刻田中会長からもご挨拶申し上げましたが、10月3日の本日は、本来ならばいちょうホールの大ホールを満席にして、音楽活動優秀校の小・中学校の皆さんを中心に華やかに音楽祭が展開されている筈でございました。しかしながら、予測のつかないコロナ事情の中でやむを得ず事

事業実行委員長 杉山 友一



業計画の一部を切り離して本日の集いを開かせて頂きました。プログラムの中では、高いレベルの実力校松が谷中学校吹奏楽部には私共プロバスクラブから吹奏楽器が、学校の運営面で地域との連携を重視する中で、象徴的な役割を果たしている清水小学校プラスバンド部、そして、市内小学校 70 校の合唱活動でその頂点に立つ上柚木小学校合唱部の皆さんには、それぞれ八王子織物工業組合様から特製の舞台用ネクタイが活動奨励品として贈られます。織物組合様におかれましては、この度は私共プロバスクラブの事業企画にご賛同いただき特段のご協賛を頂きましたこと本席にて改めて厚く御礼申し上げる次第です。思えば今日をご縁として八王子織物の 100 年を超える歴史と伝統が子ども達の音楽の舞台と繋がりました。このご縁を機として、子ども達の心を育む音楽活動がなお一層盛んになることを願っているところです。子ども達は「家庭」、「学校」、そして「地域」が共に育てるものとの思いを共有できる一日でありたいと願っております。本日はどうぞよろしくお願い致します。

祝 辞

八王子市長挨拶（要旨）

八王子市長 石森 孝志

創立 25 周年のお祝いの言葉と生涯学習サロンの開催により幅広く市民の皆さんに貢献していること、宇宙の学校の開催により子どもたちに大きな夢をあたえてくれたことに対してのねぎらいの言葉を頂きました。



八王子南ロータリークラブ会長挨拶（要旨）

会長 神山 治之

創立 25 周年のお祝いの言葉とプロバスクラブの「生涯学習サロン」による市民への参加呼びかけと八王子宇宙の学校開催による子どもたちへの科学に対する興味を抱かせる活動に対しての評価を頂きました。



活動奨励品の贈呈



八王子松が谷中学校に東京八王子プロバスクラブ田中会長より「吹奏楽器目録」が贈呈されました。

会長と目録を手にする松が谷中学校佐藤ひろみ校長

八王子市立清水小学校に「舞台用ネクタイ」が八王子織物工業組合榎崎亮一理事長より贈呈されました。

八王子織物工業組合 榎崎亮一理事長と
「舞台用ネクタイ」を手にする清水小学校
町田浩一校長



八王子織物工業組合 榎崎亮一理事長と
「舞台用ネクタイ」を手にする上柚木小学校
町田千恵美校長

謝 辞

奨励品の贈呈を受けた各学校長から感謝の言葉をいただきました。



松が谷中学校 佐藤校長



清水小学校 町田校長



上柚木小学校 町田校長

感謝状贈呈

八王子市教育委員会教育長 安間 英潮

八王子市教育委員会安間教育長より今回の活動に対する感謝状が東京八王子プロバスケットボールクラブに、「舞台用ネクタイの寄贈」への感謝状が八王子織物工業組合に贈られました。

左より

東京八王子プロバスケットボールクラブ 田中会長
八王子織物工業組合 榎崎理事長
八王子市教育委員会 安間教育長



<小休憩>

三校部活動の演奏スナップ動画を放映

小休憩のあと、各学校の生徒さんたちからのお礼の言葉と活動内容の記録映像が放映されました。



松が谷中学校吹奏楽部の皆さん

清水小学校ブラスバンド部の皆さん



上柚木小学校合唱部の皆さん

講 話

八王子市教育委員会教育長 安間 英潮

プロバスクラブ創立 25 周年へのお祝いの言葉とコロナ禍での教育現場の取り組みの難しさ、それに伴う音楽活動の厳しさについてお話頂きました。また、奨励品の贈呈に対する謝辞がありました。(講話要旨)

賛助出演 ソプラノ独唱

ソプラノ歌手田中三佐代さんによる独唱が行なわれました。ピアノ伴奏は畑野かん奈さん。

ヴェルディ作曲オペラ「椿姫」より「乾杯の歌」、プッチーニ作曲オペラ「蝶々夫人」より「ある晴れた日に」、ホルスト作曲「惑星」より「ジュピター」が熱唱されました。



記念品贈呈

田中三佐代さんと畑野かん奈さんには、シニア・ダンディーズの活動に対し、永年にわたってご指導・ご協力をいただいたことに感謝し、記念品が贈呈されました。

左から 畑野かん奈さん、田中会長、田中三佐代さん



創立以来、永年にわたり当プロバスクラブの運営に尽力されてきました創立会員である大野幸二会員、岡田尚会員、立川富美代会員の三会員に記念品が贈られました。(濱野幸雄会員、古川純香会員は欠席)

左から 立川富美代会員、岡田尚会員、大野幸二会員、田中会長

閉会挨拶

東京八王子プロバスクラブ副会長

河合 和郎

本日は関係各位の一方ならないお力添えによりまして「エールを送る会」を盛会裡に終了することができました。改めまして心から御礼を申し上げます。

本日の会には本来なら主役となるべき小・中学校の生徒さんの姿がありません。「コロナの蔓延」に対する自粛の為であり、誠に残念なことであります。

プロバスクラブでは創立 25 周年記念事業の一環として、明年 3 月に 3 校合同の演奏会を開催することをお約束して、本日の「エールを送る会」を閉会といたします。ありがとうございました。



II. 東京八王子プロバスクラブ活動状況

1. 25年間の歩みと最近5年間の活動状況

① プロバスクラブ設立の経緯とその後の歩み

プロバスクラブの設立は、国際ロータリー傘下の全国各地のロータリークラブが高齢者を対象とした社会奉仕活動の一環で、当クラブは東京八王子南ロータリークラブの創立10周年記念事業の一つとして、平成7年10月18日に設立された。創立会員は33名。わが国では26番目、東京では2番目のクラブとして誕生した。

設立の趣旨は、「日本社会は21世紀には世界でも類を見ない長寿社会を迎えることになる。高齢者がいきいきと活動できる場を創る必要がある。八王子地域にも、第一線を退いたとはいえ、なお若さを失わず、活力、気力に溢れた方々が多数存在している。そうした方々に呼びかけて、プロバスクラブを結成し、その貴重なキャリアや人生経験を、お互いの親睦や地域社会の為に生かしていこう」ということにあつた。

設立に当たっては、南ロータリークラブ内に設立準備会が設けられ、会則や運営細則、クラブの旗とバッジのデザイン、プロバス賛歌の歌詞と作曲など、幅広い諸準備が急ピッチで進められた。因みに作詞は初代会長の**大野聖二氏**、作曲は多くの学校校歌作曲の実績のある国立音楽大学石井亨教授である。初代会長には、設立準備会会長の**大野聖二氏**が就任した。

発足早々から、第一線を退いた実業人としての専門知識や人生経験を社会に還元し、地域社会のお役に立ちたいとの考えから、「生涯学習サロン」の開催が検討され、平成9年3月から5月まで第一回が開催され、会員の他一般市民参加者が58名であった。以降、サロンは毎年春に開催され、本年（令和2年春）で、第24回を数えクラブの奉仕活動の柱となっている。

例会については、第1回が平成7年11月9日に開催され、プロバスだよりは、第1号が同年12月に発行された。

その後、歴代の会長は、それぞれのスローガン（別表①）を掲げ、役員（別表②）を中心に、会員数を増加させつつ、会員相互の親睦を図るとともに地域との交流や地域奉仕活動に取り組んだ。平成23年度からは、青少年の科学する心の育成に取り組むこととし、多くの方々、団体の協力を得て、八王子「宇宙の学校」設立の運びとなり、以降、年を追う毎に一層活発化し、発展を遂げている。

また、プロバスクラブ男性会員で構成されているコーラスグループ、シニア・ダンディーズも、地域奉仕活動に深く関わっており、令和2年で10周年となるが、この間、いちょうホール、オリンパスホール、京王プラザホテル、八王子エルシィ等々のほか老健施設への慰問演奏など多様な行事に招かれて平素の練習の成果を発表している。

「創立記念事業」:クラブは設立以来5年毎に記念事業を実施して来た。その要約を以下に記す。

<創立5周年記念事業> (2001年3月22日)

・記念講演会と記念式典&レセプションパーティー (八王子エルシィ) ・記念誌の発行

<創立10周年記念事業> (2005年10月15日)

・記念演奏会 陸上自衛隊東部方面音楽隊 (八王子市民会館)

・記念式典&レセプションパーティー (八王子エルシィ) ・記念誌の発行

<創立 15 周年記念事業> (2010 年 10 月 17 日)

テーマ：「宇宙への未来の夢と努力と」

- ・記念講演会と視覚障害音楽家によるコンサート（八王子市民会館）
- ・記念式典 & レセプションパーティー（八王子エルシィ） ・記念誌の発行

<創立 20 周年記念事業>

- ・海上自衛隊東京音楽隊 八王子公演 チャリティ鑑賞会の開催（オリンパスホール）
(2015 年 8 月 28 日) 当日のチャリティ基金で福島県の罹災中学校を支援。
- ・「輝く宇宙八王子展」の開催。JAXA と連携し、八王子駅南口総合事務所展示会場にて
2 週間開催し 4,000 人が来館。
- ・記念講演会と記念式典 & レセプションパーティー（2015 年 10 月 18 日）
(京王プラザホテル八王子) ・記念誌の発行

<創立 25 周年記念事業>

- ・「次代を育てる はばたけ未来!! 音楽祭」(八王子市文化芸術振興条例協賛事業)
小学校合唱・中学校吹奏楽・高校和太鼓・高校吹奏楽の各優秀代表校の演奏会
(2020 年 10 月 3 日) 会場 いちょうホール
- ・記念式典 & レセプションパーティー（八王子エルシィ） ・記念誌の発行
以上の予定であったが、新型コロナウイルスの影響で中止せざるを得ない状況に追い込まれ
やむを得ず、規模を縮小し「小・中学校 音楽活動優秀校にエールを送る会」の開催に切り替えた。

② プロバスクラブの会務の運営

(会務運営に関する重要事項の決定)

東京八王子プロバスクラブの運営については、「東京八王子プロバスクラブ会則」および付
属細則を定めて、会務運営に関わる重要事項である会員資格、会費、諸会議役員等の事項を定
め、諸活動の柱としている。

会務運営の最重要事項は、定時ないし臨時に開催される「総会」において決議決定されたう
え、役員および会員によって実施、実行されている。総会決議事項の内容は、新年度の業務計
画と前年度の執行状況報告、新年度の予算と前年度決算、理事等役員の選任、会則の改定など
である。

(理事と理事会)

当クラブの役員は、総会で理事 11 名、会計監査 2 名を選任し、理事の互選により、会長、
副会長、幹事を選出する。

毎月 1 回開催する理事会においては、総会提出議案を決定するほか、会務の常務事項を執行
することとしている。

(委員会)

当プロバスクラブには会務の円滑な運営を図るために、例会委員会、情報委員会、会員委員
会、研修委員会、地域奉仕委員会と八王子「宇宙の学校」担当を設置して、総会、理事会の決
定に従い、常務事項を遂行している。また会員は全員が、これら委員会や担当グループに属す
ることとして、担当する任務の遂行にあたっている。

クラブの直近 5 年間の活動状況については、「最近 5 年間の主な動き」として纏めて次項に
記載した。

③ 会員動向

(1) 会員状況

年 度	期 間	入会数	退会数	会員数 (期末)	男性	女性	平均 年齢
設立時				33			
10年経過時				63			
15年経過時				66			
平成27年	27.7.1～28.6.30	7	5	68	54	14	72.8
平成28年	28.7.1～29.6.30	3	3	68	54	14	78.2
平成29年	29.7.1～30.6.30	3	6	65	51	14	79.0
平成30年	30.7.1～1.6.30	5	11	60	47	13	79.5
令和元年	1.7.1～2.6.30	2	4	58	46	12	80.8

(2) 入会者

年 度、	
平成27年	136 持田 律三、137 有田 進治、138 佐々木 秀勝、139 一瀬 明 140 竹元 正美 141 齊藤 万里子、142 白柳 和義
平成28年	143 井上 克、144 大澤 敬之、145 杉田 信夫
平成29年	146 志村 高 147 塚本 吉紀、148 深谷 正徳
平成30年	149 堀 武彦、150 間宮 敏明、151 鈴木 均、152 寺山 政秀、 153 土屋 三千代
令和 元年	154 山野 稔、155 丸山 恭

(3) 退会者

年 度	
平成27年度	94 石田 文彦、103 増田 由明、112 熊田 眞瑜美、117 橋本 晴重郎、 133 磯 洋一
平成28年度	82 小林 時雄 (逝去)、84 荒 正勝、130 高橋 敏夫
平成29年度	8 大高 秀夫 (逝去)、90 澤渡 進、98 川村 真 (逝去)、99 土井 俊雄、 101 佐々木 正、135 山崎 光子
平成30年度	5 石田 雅巳、10 大野 聖二 (逝去)、24 渋谷 文雄 (逝去)、 57 廣瀬 智子、65 米林 伸恭 (逝去)、69 阿部 幸子、121 山形 忠顯、 140 竹元 正美、142 白柳 和義、144 大澤 敬之、146 志村 高
令和 元年度	20 小林 貞男、83 八木 啓充、7 大串 延子、137 有田 進治

④ 最近5年間の活動状況

(1) 平成27年度(2015.7.1~2016.6.30)

- ① 7月9日 定期総会 2015~2016年度事業報告・決算報告の件、2016~2017年度事業計画・予算の件、創立25周年記念事業計画・予算の件
- ② 7月9日 例会において、新年度の会長方針が示された。キャッチコピーは「仲間の輪を広げ、楽しみの環を広げよう」
- ③ 2016~2017年度八王子「宇宙の学校」は7月5日教育センター会場で、7月5日教育センターで、7月11日八王子北高等学校でそれぞれ開講式およびスクーリングを開催
- ④ 8月28日 創立20周年記念チャリティー音楽鑑賞会が海上自衛隊東京音楽隊の出演で開催
- ⑤ 9月10日 臨時総会 理事1名交代の件。「広報パンフレット」改訂版の発行
- ⑥ 10月18日 八王子プロバスケットボールクラブ創立20周年式典挙行。前半は「輝く八王子宇宙展」を八王子市庁舎分館で開催、後半の記念講演会はJAXA名誉教授的川泰宣氏の講演、記念式典ではチャリティー「中学生宇宙文庫」目録が、いわき市立豊間中学校への贈呈が京王プラザホテル八王子で行われた。
- ⑦ 11月12日 野外研修実施。鎌倉巡り
- ⑧ 11月21日 全日本プロバス協議会全国理事会に出席
「八王子いちょう祭り」支援協力
- ⑨ 11月20日 全日本プロバス協議会第7回総会出席。北九州小倉
- ⑩ 12月10日 臨時総会 創立20周年事業報告及び収支報告、第20回生涯学習サロン特別会計予算の件
- ⑪ 3月12日 生涯学習サロン始まる。
- ⑫ 5月12日 臨時総会 2016~2017年度役員人事の件、承認
- ⑬ 5月25日 熊本震災義援金を日本赤十字社を通じ拠出
- ⑭ 6月9日 事務局の住所変更 八王子市追分町9-3
八王子「宇宙の学校」の人的支援として大学生によるボランティア倶楽部設立、発足

(2) 平成28年度(2016.7.1~2017.6.30)

- ① 7月14日 定期総会 2015~2016年度事業報告・決算報告の件、2016~2017年度事業計画・予算の件
八王子プロバスケットボールクラブ事務局の移転
- ② 7月14日 八王子市から八王子「宇宙の学校」助成金の確保ができた。
フラダンス同好会発足
- ③ 8月11日 日野プロバスケットボールクラブ小島薫会長、小西弘純副会長、土方尚功幹事、後藤紀之副幹事が例会に出席
- ④ 9月5日 第1回プロバスケットボール東日本ブロック交流会実施
- ⑤ 10月13日 「Dr. 肥沼の偉業を後世へ伝える会」に対し「有志」として協力
- ⑥ 11月10日 野外研修「生命の星・地球博物館」見学と小田原界限周遊

- ⑦11月29日 全日本プロバス協議会第7回総会に参加
- ⑧12月4日 「おかえりなさいDr.肥沼」チャリティーイベント参加
- ⑨12月8日 臨時総会。生涯学習サロン予算承認
- ⑩1月12日 新年懇親会開催。多摩プロバスクラブ倉賀野会長・日野プロバスクラブ小島会長出席
古典芸能鑑賞同好会発足
- ⑪3月10日 生涯学習サロン始まる。
- ⑫5月11日 臨時総会開催。新年度役員人事の件、承認
- ⑬5月12日 鎌倉プロバスクラブ創立15周年行事に参加

(3) 平成29年度 (2017.7.1~2018.6.30)

- ①7月13日 定期総会 2016~2017年度事業報告・決算報告の件
2017~2018年度 事業計画・予算の件
- ②10月1日 「八王子市制100周年記念式典」に武田会長出席
- ③9月6日 橋本鋼二会員が「第20回日本自費出版文化賞地域文化部門賞」を受賞
- ④9月16日 市政100周年記念事業「全国都市緑化はちおうじフェア」へのボランティア参加
- ⑤11月9日 野外研修・「八王子から学ぼう」(地元企業訪問)
- ⑥11月18日 八王子いちょう祭りに協力
- ⑦11月28日 「第2回東日本ブロック交流会」開催(八王子エルシィ)
- ⑧1月11日 厳しい財政状況打開のためアンケート集約結果配布
- ⑨4月12日 アンケートの集約結果は会費収入で支出がまかなえる本来の姿に戻すこと、
そのためには各支出項目の更なる削減を図ること。という結論に達した。
- ⑩5月10日 臨時総会。新年度役員人事の件、承認
- ⑪6月24日 八王子「宇宙の学校」始まる。

(4) 平成30年度 (2018.7.1~2019.6.30)

- ①7月13日 定期総会 2017~2018年度事業報告・決算報告の件
2018~2019年度 事業計画・予算の件、入退会等手続きに関する細則の改定
いずれも承認
新年度のテーマ「語り合おう！そして愉しく豊かなクラブライフを！」
- ②8月9日 西日本豪雨災害義援金の募金依頼
自主学習会の立ち上げ
初代会長大野聖二氏が逝去され、黙祷を捧げた。
- ③9月13日 西日本豪雨災害義援金15万円を読売新聞社に寄託
全日本プロバス協議会全国理事会に出席
会費改定案の提出、承認
- ④11月8日 野外研修実施。テーマ「今、八王子の大学がおもしろい！」
- ⑤12月8日 臨時総会。生涯学習サロン予算、会則変更、会則変更に伴う一般会計予算
修正、いずれも承認。

- ⑥ 1月24日 創立25周年記念事業の準備委員会発足
- ⑦ 2月14日 「東京八王プロバスクラブのご案内」改訂版作成
- ⑧ 2月21日 23回生涯学習サロン開催
- ⑨ 3月14日 「30年度 八王子「宇宙の学校」レポート配布
- ⑩ 5月9日 臨時総会開催。新年度役員人事の件、承認
- ⑪ 5月19日 2019健康フェスタに協力

(5) 平成31年度・令和元年度(2019.7.1~2020.6.30)

- ① 7月13日 定期総会 2018~2019年度事業報告・決算報告の件、
2019~2020年度 事業計画・予算の件、
入退会等手続きに関する細則の改定の件、
創立25周年準備委員会構成及び活動計画の件、いずれも承認
新年度のテーマ 「素敵に輝いて、素敵なクラブライフを！」
- ② 8月8日 創立25周年記念事業のタイトル「次代を育てる はばたけ未来！！音楽祭」
に決まる
- ③ 9月12日 臨時総会。「全日本プロバス協議会第10回総会(2022年)ホストクラブ就
任」の件、承認
- ④ 11月14日 野外研修、「沼津港周辺」実施
- ⑤ 11月16日 八王子いちょう祭りに協力
- ⑥ 11月17日 第10回八王子「宇宙の学校」活動終了
- ⑥ 12月13日 臨時総会。生涯学習サロン予算の件、承認
米寿会員のお祝い。立川富美代会員、東山榮会員の2名
- ⑧ 1月9日 新年懇親会開催。多摩プロバスクラブ、日野プロバスクラブより会長及び役
員の方々にご参加頂いた
- ⑨ 2月13日 新型コロナウイルス感染拡大により第24回生涯学習サロン中止
- ⑩ 3月12日 新型コロナウイルス感染拡大に伴い開催予定の293回例会中止
- ⑩ 4月9日 新型コロナウイルス感染拡大に伴い開催予定の294回例会中止
- ⑫ 5月14日 新型コロナウイルス感染拡大に伴い開催予定の295回例会中止
臨時総会議題、新年度役員人事について書面による議決
- ⑬ 6月11日 年度末懇親会開催。日本閣

別表 ①

歴代会長とそのスローガン

期	年度	期 間	会 長	スローガン
1	平成 7	H 7/10/18～H 9/ 6/30	大野 聖二	地域への知的貢献、会員活動の活発
2	平成 9	H 9/ 7/ 1～H10/ 6/30	藤野 豊	月例会の充実と他プロバスクラブとの交流
3	平成 10	H10/ 7/ 1～H11/ 6/30	野口 正久	会員の拡充と当会の社会的ステータスの向上
4	平成 11	H11/ 7/ 1～H12/ 6/30	田子 稔	会員間交流の強化と各委員会活動の充実
5	平成 12	H12/ 7/ 1～H13/ 6/30	平原 俊彦	健康再チェックでより活気ある活動を
6	平成 13	H13/ 7/ 1～H14/ 6/30	長町 幸雄	健康と長寿を目指したQ O Lの追求と円滑なクラブ活動の推進
7	平成 14	H14/ 7/ 1～H15/ 6/30	石井 實	輪・協同・健康
8	平成 15	H15/ 7/ 1～H16/ 6/30	立川富美代	喜びを分かち合おう・支えあえる仲間になろう
9	平成 16	H16/ 7/ 1～H17/ 6/30	大高 秀夫	支え合おう・感謝の気持で“ありがとう”
10	平成 17	H17/ 7/ 1～H18/ 6/30	大野 聖二	夕焼けのまちの明日を照らそう
11	平成 18	H18/ 7/ 1～H19/ 6/30	濱野 幸雄	豊かさを求めてプロバスライフを楽しもう
12	平成 19	H19/ 7/ 1～H20/ 6/30	宮崎 浩平	ふるさとへの恩返し、豊かな知識と経験を
13	平成 20	H20/ 7/ 1～H21/ 6/30	矢島 一雄	学びそして発信しよう、より豊かな地域社会を求めて
14	平成 21	H21/ 7/ 1～H22/ 6/30	下山 邦夫	広げよう！ プロバスクラブの楽しみの『環』
15	平成 22	H22/ 7/ 1～H23/ 6/30	杉山 友一	Positive Aging 「遊び心・学ぶ心・奉仕の心」でクラブは今年も進化します
16	平成 23	H23/ 7/ 1～H23/ 6/30	佐々木研吾	創立以来 15 年余、会員の努力で培ってきた叡智を、さらなる躍進の糧に
17	平成 24	H24/ 7/ 1～H25/ 6/30	吉田 信夫	親睦と奉仕そして前進 — クラブライフを通じて青春をたぎらせよう —

期	年度	期 間	会 長	スローガン
18	平成 25	H25/ 7/ 1~H26/ 6/30	荒 正勝	気軽に交流を楽しむクラブ —優れた運営の仕組みを継承し、会委員活動をより楽しくしよう —
19	平成 26	H26/ 7/ 1~H27/ 6/30	土井 俊玄	[参加して、真に生甲斐の持てるクラブ] — 先人の知恵を受け継ぎ、自分を出し切ることに徹しよう —
20	平成 27	H27/ 7/ 1~H28/ 6/30	永井 昌平	仲間の輪を広げ、楽しみの環を広げよう
21	平成 28	H28/ 7/ 1~H29/ 6/30	岩島 寛	新鮮な全員参加の輪を広め、夕やけのまち永久に照らそう
22	平成 29	H29/ 7/ 1~H30/ 6/30	武田洋一郎	プロバスクラブの道に終わりなし生涯現役でクラブライフを楽しもう
23	平成 30	H30/ 7/ 1~R 1/ 6/30	馬場 征彦	語り合おう！そして楽しく豊かなクラブライフを！
24	令和元	R 1/ 7/ 1~R 2/ 6/30	飯田 富美子	素敵に輝いて、素敵なクラブライフを！
25	令和 2	R 2/ 7/ 1~R 3/ 6/30	田中 信昭	コロナから身を守る 温故知新：古きをたずねて新しきを知る

東京八王子プロバスケットボールクラブ歴代役員一覧表

NO.1

期	年度	会長	副会長	幹事	副幹事	例会	会員	情報	研修	地域奉仕	宇宙の学校	交流担当	監査
1	平成7	大野 聖二	藤野 豊	桂 元二	-	立川富美代	濱野 幸雄	北原 満夫	田子 稔	野口 正久	-	-	-
2	平成9	藤野 豊	野口 正久	立川富美代	-	松尾信一郎	大高 秀夫	平原 俊彦	加藤 寛	北原 満夫	-	-	桂 元二
3	平成10	野口 正久	田子 稔	濱野 幸雄	桂 元二	加藤 寛	井口 楨	大山 泰	鈴木 幸雄	平原 俊彦	-	-	大高 秀夫 田淵 元子
4	平成11	田子 稔	平原 俊彦	北川 博孝	-	宮崎 浩平	野口 勝久	石井 充	立川 富美代	吉田 信夫	-	-	岩岡 茂之 大野 幸二
5	平成12	平原 俊彦	長町 幸雄 立川富美代	大高 秀夫	-	下山 邦夫	須藤 英雄	石井 貴	北川 博孝	岩岡 茂之	-	-	岩岡 茂之 大野 幸二 岩岡 茂之 大野 幸二
6	平成13	長町 幸雄	石井 貴	宮崎 浩平	廣瀬 智子	須藤 英雄	小林 貞雄	山下 安雄	土井 俊玄	下山 邦夫	-	-	岩岡 茂之 大野 幸二 岩岡 茂之 大野 幸二
7	平成14	石井 貴	立川富美代	松尾信一郎	古川 純香	橋本 義和	西志村光治	浅輪 豊治	塩澤 迪夫	濱野 幸雄	-	-	岩岡 茂之 大野 幸二 岩岡 茂之 大野 幸二
8	平成15	立川富美代	大高 秀夫	下山 邦夫	鶴田 金通	田中 壽	中野 義光	武田洋一郎	須藤 英雄 矢崎 安弘	宮崎 浩平	-	-	岩岡 茂之 大野 幸二 岩岡 茂之 大野 幸二
9	平成16	大高 秀夫	大野 聖二	吉田 信夫	永井 昌平	山崎 修司	山下 安雄	矢崎 安弘	小林 貞雄	佐々木研吾	-	-	岩岡 茂之 大野 幸二 岩岡 茂之 大野 幸二
10	平成17	大野 聖二	濱野 幸雄	佐々木研吾	下田 泰造	徳永 保徳	野末 孝雄	橋本 鋼二	八木 啓充	永井 昌平	-	-	岩岡 茂之 大野 幸二 岩岡 茂之 大野 幸二
11	平成18	濱野 幸雄	宮崎 浩平	鶴田 金通	岡本 宝蔵	下田 泰造	澤渡 進	荒 正勝	米林 伸恭	矢崎 安弘	-	-	岩岡 茂之 大野 幸二 岩岡 茂之 大野 幸二
12	平成19	宮崎 浩平	矢島 一雄	山崎 修司	土井 俊雄	浅川 文夫	杉山 友一	八木 啓充	荒 正勝	阿部 和也	-	-	岩岡 茂之 大野 幸二 岩岡 茂之 大野 幸二
13	平成20	矢島 一雄	下山 邦夫	矢崎 安弘	有泉 裕子	多村 繁樹	下田 泰造	長谷川貴訓	橋本 鋼二	澤渡 進	-	-	岩岡 茂之 大野 幸二 岩岡 茂之 大野 幸二
14	平成21	下山 邦夫	杉山 友一	荒 正勝	戸田 弘文	宮城 安子	岡本 宝蔵	竹内 賢治	佐々木 正	堀口 俊雄	山崎 修司	山崎 修司	阿部 幸子 小林 時雄
15	平成22	杉山 友一	佐々木研吾	澤渡 進	高取 和郎	東山 栄	川村 真	吉田 信夫	土井 俊玄	下田 泰造	-	-	阿部 幸子 小林 時雄 浅川 文夫 荒 正勝
16	平成23	佐々木研吾	吉田 信夫	永井 昌平	宮城 安子	有泉 裕子	浅川 文夫	馬場 征彦	岩島 寛	田中 信昭	-	-	阿部 幸子 小林 時雄 浅川 文夫 荒 正勝
17	平成24	吉田 信夫	荒 正勝	塩澤 迪夫	川村 真	飯田富美子	橋本晴重郎	寺田 昌章	土井 俊雄	橋本 鋼二	-	-	阿部 幸子 小林 時雄 浅川 文夫 荒 正勝

東京八王子プロバスクラブ歴代役員一覧表

NO.2

期	年度	会長	副会長	幹事	副幹事	例会	会員	情報	研修	地域奉仕	宇宙の学校	交流担当	監査
18	平成25	荒 正勝	土井 俊玄	馬場 征彦	竹内 賢治	戸田 弘文	荻島 靖久	田中 信昭	河合 和郎	内山 雅之	-	浅川 文夫	山崎 修司 市川 昌平
19	平成26	土井 俊玄	永井 昌平	武田洋一郎	山口 三郎	田中美代子	岡本 宝蔵	河合 和郎	石田 文彦	寺田 昌章	下山 邦夫	浅川 文夫	塩澤 勉夫 飯田 富美子
20	平成27	永井 昌平	岩島 寛	田中 信昭	川村 真	荻島 靖久	馬場 征彦	土井 俊雄	戸田 弘文	山口 三郎	下山 邦夫	浅川 文夫	有泉 裕子 高取 和郎
21	平成28	岩島 寛	武田洋一郎	飯田富美子	寺田 昌章	宮城 安子	土井 俊雄	有泉 裕子	池田ときえ	持田 律三	下山 邦夫	浅川 文夫	川村 真 内山 雅之
22	平成29	武田 洋一郎	馬場 征彦	内山 雅之	河合 和郎	山口 三郎	戸田 弘文	山崎 光子	竹元 正美	永井 昌平	下山 邦夫	浅川 文夫	岡本 宝蔵 鈴木はるみ
23	平成30	馬場 征彦	飯田富美子	寺田 昌章	大澤 敬之	池田ときえ	岡本 宝蔵	持田 律三	有田 進治	一瀬 明	下山 邦夫	田中 信昭	根本 洋子 岡部 洽
24	平成31	飯田富美子	田中 信昭	一瀬 明	有泉 裕子	齊藤万里子	寺田 昌章	河合 和郎	山口 三郎	武田 洋一郎	下山 邦夫	田中 信昭	根本 洋子 岡部 洽
25	令和2年	田中 信昭	河合 和郎	持田 律三	山口 三郎	齊藤万里子	寺山 政秀	内山 雅之	飯田富美子	馬場 征彦	下山 邦夫	一瀬 明	岡部 洽 鈴木はるみ

注. 立川富美代 平成15年から平成31年まで全日本プロバス協議会の副会長、その後、全日本プロバス協議会顧問に就任、現在に至る。

2. 会員相互の親睦

① 例会の開催

八王子プロバスクラブの例会は、毎月第2木曜日を定例会として開催している。予・決算や年次活動報告、次年度計画その他総会付議事項がある場合は、例会に先立って審議、決定するが、例会自体は2時間を予定し、中身が濃く、和やかに進行されるよう、担当の例会委員会のメンバーはもとより会員各位が努力している。

例会の通常の進行内容は

会食・ハッピーコインの披露（会長又は副会長）

- ① 開会（資料確認）
- ② 会長挨拶とバースデーカードの贈呈
- ③ 卓話
- ④ 幹事報告
- ⑤ 各委員会活動報告（例会、情報、会員、研修、地域奉仕、宇宙の学校、交流）
- ⑥ 同好会活動報告（10の各同好会のうち報告のある会から）
- ⑦ その他案件

としており、適時、来賓の挨拶や新入会員のあった場合の紹介などを実施する。

以上のような月1度の例会だが、例会はプロバスクラブの顔ともいべきもので、その時の雰囲気明るく、華やいだものになるよう心掛けている。外部から来賓のお客様をお迎えするときは、とりわけ緊張する。また、配席については多くの会員との会話、親睦が図られる場であるのでローテーションを考えて配置しているが、それでも時には、席の固定化で変化がないといったような意見が出されることもある。

配付する資料については、各自のトレイに余裕を持って配備されるよう関係部署にお願いし、資料の迅速な処理が出来るようになった。食事会場のエルシィの格段のご理解、ご協力によりメニューに変化をつけながら円滑に準備されている。

② 野外研修

野外研修は、研修委員会が企画、立案し、これまで毎年11月の例会日に実施して来ている。しかしながら昨今の会員の高齢化等に起因する参加者の恒常的な減少から、そのあり方につき検討を重ねて来た結果、今年度を以て終了とし、今後特別例会として、野外に拘わらず独自の工夫を取入れた新たな例会を実施することとした。

野外研修実施リスト

<実近5年度分>

- | | | |
|--------------|--------|---|
| 2015. 11. 12 | (241号) | 「鎌倉を散策する」
高德院 長谷の大仏・建長寺・鶴岡八幡宮 |
| 2016. 11. 10 | (253号) | 「小田原界限を周遊する」
生命の星地球博物館・小田原城・小田原文学館・松永記念館 |

2017. 11. 9	(265 号)	「八王子から学ぼう」 BS コーポレーション・リオンテクノ・日野オートプラザ（昼食を兼ねる）・戸吹クリーンセンター
2018. 11. 8	(277 号)	「八王子の大学がおもしろい！」 東京工科大学・純心大学・創価大学 昼食 日本閣
2019. 11. 14	(289 号)	「未知の領海といわれる深海を覗いてみよう」 沼津御用邸記念公園・沼津港展望大型水門「びゅお」・沼津港深海水族館

③ 卓話

卓話は、研修委員会が人選を担当し、原則として例会において会員が話し手となるが、適時、時局にあったテーマについて外部の方に講演をお願いしている。最近5年間の卓話の演題と実施者を以下に掲載する。

なお、卓話の概要についてはホームページから検索できるよう「プロバスだより」の掲載号数を記載したので参考にされたい。

平成 27 年度

実施月	氏 名	テ ー マ	掲載号
1 月	岡部 洽	妻木晩田遺跡と上淀廃寺	291
2 月	高橋 敏夫	人にとって車とは何か	232
3 月	根本 照代	介護保険制度について	233
4 月	土井 俊玄	美しい老いを迎えるために	234
8 月	石田 文彦	杜甫「春望」「国破山河在り・・・」の解釈	238
9 月	山崎 光子	発達障害と居場所作り	239
10 月	小林 時雄	シニアライフを楽しむ	240
12 月	(特別講話) 牧 壮	100 歳が始めた SNS のその後 (スマートシニアアソシエーション代表)	242

平成 28 年度

実施月	氏 名	テ ー マ	掲載号
1 月	山形 忠顯	オペラのお話	243
2 月	武田 洋一郎	タブレットで遊楽～ひと味違う生活を Do エンジョイ～	244
3 月	橋本 鋼二	ランを楽しむ	245
4 月	塩澤 迪夫	ニュースポーツで楽しもう	246
8 月	(特別講話) 梅澤 香代子	八王子出身の偉人 ドクター肥沼信次を知っていますか	250
9 月	立川 富美代	オペラ歌手よもやま話	251
10 月	竹元 正美	米百俵海を渡る	252
12 月	下山 邦夫	和算で遊ぼう	254

平成 29 年度

実施月	氏 名	テ ー マ	掲載号
1 月	橋本晴重郎	闇地獄から生還して	255
2 月	一瀬 明	「たかが金されど金」山師のたわ言	256
3 月	(特別講話) 和田 尚之	「全てはみんなの笑顔のために」 プロバスケットチームの現状と東京八王子トレインズの活動	257
4 月	佐々木 秀勝	創価大学と私 地元で愛される大学に	258
8 月	白柳 和義	八王子・海外交流都市の紹介	262
9 月	井上 克	元警視庁検視官の体験談 ～ 死者と対話 ～	263
10 月	大澤 敬之	野菜を巡る情勢 ～ 野菜は需給の優等生 ～	264
12 月	田中 信昭	モンゴル旅行の思い出	266

平成 30 年度度

実施月	氏 名	テ ー マ	掲載号
1 月	持田 律三	自動車工業の今むかし ～ 困難を乗り越えて～	267
2 月	寺田 昌章	消化器（咽頭・食道・胃）の働きと病気の治療法	268
3 月	岩島 寛	Dr. 肥沼の眠るヴリーツェン市を訪ねて	269
4 月	寺田 昌章	消化器後編（脾臓・胆嚢・胆道・小腸・大腸）の働きと病 気の治療法	270
9 月	深谷 正徳	落伍者を作らない八王子の学校教育のために	275
10 月	志村 高	自動車から見た世界	276
12 月	塚本 吉紀	日本人子女が学べる海外での学校は — 在外教育施設 —	278

平成 31 年度・令和元年度

実施月	氏 名	テ ー マ	掲載号
1 月	林 良健 (東京日野 PC)	笑顔が持つ、底知れぬパワー — “笑いの治癒力” 心と体の不思議な関係 —	279
2 月	堀 武彦	自己紹介	280
3 月	平野 吉三	八王子国際協会の主な活動について (八王子国際協会理事長)	281
4 月	間宮 敏明	開運 — あなたは絶対運がいい！	282
6 月	芳賀 博	高齢社会における社会参加と健康づくり (桜美林大学大学院 老年学研究科 教授)	284
8 月	野口 浩平	最近の旅事情	286
9 月	鈴木 均	ブータン紀行	287
10 月	土井 俊玄	唯識から学ぶ人間の心	288
11 月	ジュリアンシ ュミット	日本で生活していて困ったこと、文化の違いで戸惑った こと等	290
1 月	土屋 三千代	北条氏照まつりと私	291

④ プロバスだよりの発行

プロバスだよりは1995年11月9日の第1回例会の開催を機に発刊され、月1回の例会の活動状況を記録し、クラブ活動状況の取りまとめ、記録、報告誌として、大切な役割を担っている。平成26年度からは、専門業者による本格的なカラー印刷化がはかられた。

なお、プロバスだよりのバックナンバーは、毎月の発行と同時にホームページに記録され、創刊号から最新号までの閲覧を可能にしている。

次に、プロバスだよりの発行に関する関連業務として、情報委員会においてホームページの維持管理を行っている。

平成16年(2000年)に関係者の努力下、八王子プロバスクラブのホームページが立ち上げられた。これ以降、プロバスクラブの組織の紹介、活動状況はほぼすべて検索できることとなっている。

加えて、生涯学習サロンを記録するための抄録の編纂・発行も情報委員会の担当である。「生涯学習サロン」の開催内容は全て抄録に収録され、関係者に配布されており、ホームページにも全文が掲載されている。令和2年度で第24回を数える「生涯学習サロン」はコロナウイルスの感染拡大にともない中止となった。
(河合和郎)

⑤ 同好会活動

お茶同好会

1. 会 員 有泉裕子 池田ときえ 高取和郎 竹内賢治 宮崎浩平 山崎修司

2. 活 動 例会日 毎月第2火曜日 10時から12時

会 場 阿部治子会員宅

3. 茶の会活動

(1) 1月の初釜に始まり、お稽古を兼ねたお茶席で季節の道具、花、掛け軸などの取り合わせを学びました。

(2) プロバスサロンでは「ひとときのお茶」「一期一会」と題して度々お茶席を設け、参加された方々に楽しんでいただきました。

(3) 出前講座としても台町市民センターの文化祭に毎年参加、お茶の楽しさを皆さんにお伝えしています。

今後の活動は不定期として折々に季節の茶事を行います。どなたでも参加できますのでどうぞお出かけください。例会で随時ご案内致します。

(宮崎浩平)

写真同好会

幹 事 下山邦夫、矢島一雄、武田洋一郎

登録会員 浅川文夫、有泉裕子、岡本宝蔵、下山邦夫、武田洋一郎、立川富美代、土井俊玄
矢島一雄

活動内容

四季それぞれの開催するほか、会員の作品を随時発表して、会員の親睦と技術の向上を図っている。

平成 30 年 6 月	映像による会員作品発表
平成 30 年 11 月	奥多摩溪谷の紅葉撮影会の開催
令和元年 11 月	鎌倉で紅葉撮影会開催
令和 2 年	コロナウイルスの感染拡大により活動中止

囲碁同好会

囲碁同好会では門戸はない、毎月第 1・3 金曜日に、台町市民センターに来ていただければよい。常連、参加経験のある方は下記の通りです。

代表幹事	下山邦夫
会計幹事	橋本鋼二
登録会員	浅川文夫、井上 克、下山邦夫、田中信昭、杉田信夫、橋本鋼二、馬場征彦、東山 榮、宮崎浩平、矢島一雄、山崎修司、吉田信夫
客員会員	矢崎安弘、
ビジター	(日野 PC) 後藤氏、宮地氏
参加人員	毎回 8 名前後
会費	参加費 500 円 その都度徴収 (会場費に充当)
その他	勝敗によるレーティング方式 (持ち点の移動)
大会	春季囲碁大会 毎年 5 月第 1 金曜、台町市民センター 秋季囲碁大会 1 泊 毎年 10 月第 3 金曜日前後、陣谷温泉
大会優勝者 (前号以後)	

		平成 27 年秋	田中信昭
平成 28 年春	矢崎安弘	平成 28 年秋	下山邦夫
平成 29 年春	吉田信夫	平成 29 年秋	橋本鋼二
平成 30 年春	浅川文夫	平成 30 年秋	下山邦夫
令和 元年春	宮地 (日野)	令和 元年秋	橋本鋼二
令和 2 年春	新型コロナにより中止		

ゴルフ同好会

八王子プロバスクラブが 25 周年を迎えましたが、ゴルフ同好会は今年 37 回目のクラブコンペを迎えました。原則、春と秋の年 2 回のコンペを開催しております。現在 13 名程のメンバーですが高齢化が進んでおります。間もなく、全員がゴールド・ティからのスタートになりそうです。

また、2013 年より近隣プロバスクラブとの親睦のために開催されている、多摩地区 3 プロバスクラブ合同コンペも毎年春秋 2 回を開催して 15 回になりました。他クラブ (多摩、日野、八王子の合同) との情報交換ができ友好の絆を深くするのに大変役立っています。

今年 2020 年は残念ながら、新型コロナの感染の危惧からすべてのコンペは中止を余儀なくされました。天候以外の理由で中止になったのは初めてでした。コンペは無くなりましたが、有志だけでプレイを楽しみました。マスク姿のゴルフは貴重な記念となりました。また、3 プ

ロバスクラブ合同コンペも今年は八王子が幹事役でしたが、コロナのために中止と致しました。

今後も健康と親睦のために、緑の中でより多くの皆さんとゴルフを楽しみたいと思っております。

(幹事 持田律三)



コロナ下に有志の雄姿 (八王子)

ぼけない麻雀研究会

麻雀とは囲碁や将棋と違って初心者でも玄人と勝負して勝つ事が出来るゲームです。

囲碁や将棋ではプロに対し絶対的に勝つ事はできないゲームですが、負けて悔しい、勝気の強い人のみ進歩して強くなる事が出来るゲームです。

ただ一般の凡人でゲームに勝つという事は競争社会において優越感を感じ楽しさが増すことは確かです。

競争社会とは人間の生きていく中で避けては通れない道です。

例えば狩猟社会では〇〇さんより多く獲物を仕留めた！とか農耕社会では〇〇さんより多く作物を収穫できた！とか優越感を感じ楽しさも増しその方法を教えることにより社会全体が発展してくる法則が成り立っています。人間は負けてばかりでは卑屈になってしまいますが麻雀の良い処は運の良い時はどんなに強い人にでも勝てるという事です。

勝負事には勝つという特効薬は必要です。

皆さん私に勝ってみませんか。

(幹事 杉田信夫)

美術鑑賞会

美術鑑賞会の今までの活動

2016年 2月 「始皇帝と大兵馬俑」 東京国立博物館

2017年 2月 「小島善太郎コレクション」 青梅市立美術館

オリンパス技術歴史館「瑞古洞」見学

顕微鏡からカメラ、内視鏡までオリンパスの技術の粋を一望。

2017年 9月～11月 「昭和の洋画を切り拓いた若き情熱」 夢美術館企画展案内 小島善太郎 佐伯祐三ほか

2018年 4月～6月 「暁斎・暁翠伝」 富士美術館企画展案内

2019年 5月～7月 「棟方志功展」 府中市美術館企画展案内

2020年 2月～4月 「上村松園・松篁・淳史三代展」 富士美術館企画展案内

団体行動ができない時代です。これからも魅力的な展示のご案内に努めますので、それぞれの企画に足を運んでくだされば幸いです。

(代表 宮崎浩平)

俳句同好会

プロバスクラブの俳句同好会は2011年12月8日の第一回の俳句会の開催でスタートした。発足時のメンバーは8人であった。

① 月例俳句会

毎月第2水曜日を例会日として句会を開催。発足以来例会を欠かしたことはない。唯一の例外として、2020年の4月・5月の句会はコロナ対策として「紙上句会」として、通信制の句会開催となった。

句会には一人4句の作品を持ち寄り、相互に選句を行い、披講・鑑賞を行う。自由な評論はまさに談論風発であり、参加者には至福の一時なのである。

② 吟行会

俳句会の楽しみ方は室内の句会だけではない。吟行会と称して屋外へ繰り出し、旅先での句づくりを楽しむ。日帰りもあるが宿泊しての夜の懇談もまた楽しみの一つである。同好会では今までに小宮公園、高尾山、昇仙峡、山盧邸（笛吹市）、穂高・高山など多くの吟行会を実施し、自然の中での句作の楽しみを分かち合った。

③ 今月の一句

プロバスクラブの月刊誌「プロバスだより」の巻末に「今月の一句」として、メンバーの句会の作品が掲載されている。これは第一回の俳句会以来継続して連載されており、その回数は既に100回を超えている。作品を多くの方々に鑑賞して頂ける機会として、メンバーのこの上ない励みとなっている。

④ 自選句集「夕やけ」の発刊

同好会が発足して3年目の2014年3月にメンバーの自選句集「夕やけ」第1号が発刊された。参加メンバーは12人であった。その後、毎年発刊を重ね、2020年3月に第7号を数えた。自然との対話、日常生活のあれこれを作品に仕上げる創作の喜び、そして「俳句は知的快樂の極み」と喝破された今は亡き渋谷文雄翁の名言をモットーに、句友一同俳句人生を、そしてプロバスイフを楽しんでいる。

（幹事 河合和郎）

俳句同好会句友（敬称略）



田中信昭・下山邦夫・野口浩平・馬場征彦
矢島一雄・河合和郎（宗匠）・飯田富美子



東山 榮



池田ときえ



石田文彦

旅の会

旅の会の旅行企画は近年は2年に1度位になっています。

- 2016年11月 全日本プロバス協議会小倉総会ツアー（旅の会企画）
総会参加の後 小倉一下関一山口一周 14名参加
- 2017年8月 モンゴルの旅（旅の会企画）
ウランバートルーカラコルム 4名参加ほかクラブ員外6名
- 2020年8月 全日本プロバス協議会五所川原総会ツアー（旅の会企画）
総会参加後 青森2半島めぐりツアー。
日野プロバスと合同、八王子プロバスクラブ17名、日野プロバスクラブ10名の参加予定がコロナ禍の影響で2021年8月に延期となり、プログラムそのまま、2021年8月実施の予定

カラオケ同好会

同好会の例会は、原則、毎月、第3木曜日、(14時～17時)に開催。会場は八王子駅北口駅前 カラオケ館の6階、611号室を使用。

会費は当日、参加者から1,300円を徴収しています。入退場は自由。

昨年度は7月、9月、11月、1月(新年会を兼ねる)に開催した。昨年度の参加者は延べ30名でした。2月から3月はサロンの開催に合わせ休会とし、4月から再開の予定でしたが、コロナウイルス感染の広がりにより休会しています。
(代表 高取和郎)

古典芸能鑑賞会

平成29年2月同好会として承認されて以来、4年が経過しました。

発足当初より、会員登録はしなくても自由に参加できるようにしております。現在では、5～6名程度の方々が参加しています。今後もこの形を続けて参ります。

2017年度 (平成29年)

- ・ 能「一角仙人」、能「橋弁慶」、能「碓潜」、狂言「船渡賀」 国立能楽堂

2018年度 (平成30年)

- ・ 能「恋重荷」、能「道成寺」、能「鉢木」、狂言「空腕」 国立能楽堂
- ・ 人形浄瑠璃文楽「摂州合邦辻」 国立劇場

2019年度 (平成31年・令和元年)

- ・ 能「安宅」、能「石橋」、能「大会」、狂言「箕被」 国立能楽堂

今までに参加された方々 (敬称略)

杉山友一



池田ときえ



戸田弘文



田中信昭



野口浩平



有泉裕子



宮崎浩平



(代表 内山雅之)

3. 地域奉仕活動

① 生涯学習サロン

プロバスクラブは、第一線を退いた専門的職業人や実業家たちで構成され、その豊かなキャリアを生かし、社会に貢献していこうという趣旨で生まれた団体である。高齢化社会を迎えて生涯学習のニーズが高まっている現状に鑑み、当クラブの目的である「知り合いを広め、豊かな人生経験を生かして、地域社会に奉仕する」との趣旨を実行すべく、会員それぞれがその知識と経験を生かし、市民と共に学習する事業として、八王子市を初め八王子市教育委員会、八王子南ロータリークラブのご後援を頂き、平成9年に第1回生涯学習サロンが開催された。

掲げたスローガンは「学ぼう 豊かな社会経験を、語ろう それぞれのライフワークを広げよう 知り合いを」である。以来、私達クラブの地域活動の大きな柱として、多くの市民の方々に支えられてきました。

令和2年度に開催予定の第24回生涯学習サロンについては、開催の諸準備を進めてきましたが、直前になって新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐため、開催は中止せざるを得なくなりしました。

[サロン運営の方法とカリキュラム]

生涯学習サロンは、地域奉仕委員会が中心となり企画・運営をしているが、原則として会員自身が「話し手」となり実施している。演題は、郷土史、古代史、近代史、世界史、社会問題、趣味（写真、お茶、絵手紙、映画、音楽、旅行等）医療・健康・美容、科学、世界遺産、法律、経済、歴史上の人物、一般教養など多岐にわたっている。

また、開講式と閉講式には外部から講師を招き、特別講演をして頂いている。最近では第1週から第3週サロンで、それぞれ4講座を設け、その中から1講座を選択して受講して頂く方式を取っている。しかし参加した市民からは、全ての講座を聞きたいとの希望も多く寄せられているが、会場や日程などの関係から実現が難しく、今後の課題となっている。

野外サロンは日帰りバスを利用し、歴史や芸術、科学などの施設を巡って、知識を深めている。そして閉講式の後には、さよならパーティーを開催し、その時々のアトラクションを中心に参加者との心温まる交流を深めている。

本誌には第20回から第24回までのカリキュラムと参加者数を掲載した。

なお、生涯学習サロンの抄録はホームページ（東京八王子プロバスクラブ、<http://www.tokyo-hachioji-probusclub.jp>）の「クラブ活動」、「生涯学習サロン」をクリックしていくと、過去のサロン紹介として、各回の抄録が掲載されている。

[各年度の生涯学習サロンのカリキュラムと日程]

第20回（平成28年度）から第24回（令和2年度）までの各年度の生涯学習サロンのカリキュラムと日程および各年度の参加者数は次の通りである。

第20回 生涯学習サロン カリキュラムと日程

平成28年2月25日～平成28年5月12日

開講式	2月25日	特別講話 「日本の財政を築いた明治の男たち」	渡邊 房男氏
1週	3月10日	懐かしの映画とその音楽 (17)	立川 富美代
		仏教、イスラム、キリスト教の世界	杉山・土井・岩島
		昔懐かしい大善寺のお十夜を語り合おう	宮崎 浩平
		庭いじりの知恵	荻島 靖久
2週	3月24日	歌声サロン	山形 忠顯
		高齢者の旅の楽しみ方	野口 浩平
		健康寿命を如何に延ばすか	岩島 寛
		漢字の雑学	石田 雅巳
3週	4月14日	筆で描く絵手紙	池田 ときえ
		米沢藩を救った上杉鷹山	吉田 信夫
		日本の国境問題を解明する	渋谷 文雄
		正念場を迎える日本経済 ～その2人～	佐々木研吾
野外サロン	4月28日	JAL工場見学と横浜ビアビレッジ見学	
閉講式	5月12日	特別講話 「思い出深き、都立国立高校の甲子園」	市川 武史氏

第21回 生涯学習サロン カリキュラムと日程

平成29年2月23日から平成29年5月11日

開講式	2月23日	特別講話 「極地観測とオーロラの話」	宮岡 宏氏 国立極地研究所教授
1週	3月9日	「一期一会」を楽しむ茶会	阿部 治子
		初めてのヨガ	朝日 智子氏
		超高齢化社会の難題「フリーターキング」	杉山 友一
		江戸しぐさ講座 「今に生かす江戸の心」	滝川 道子氏
2週	3月23日	切って貼って手軽な絵手紙	池田 ときえ
		「シニア世代の美と健康の秘訣」	公文 裕子氏
		日本経済の針路を探る	佐々木 研吾
		歌声サロン「美しいメロディーの唄い方」	山形 忠顯
3週	4月13日	懐かしの映画とその音楽 (18)	立川 富美代
		中国の現状と招来を考える	渋谷 文雄
		病院の上手な活用法	久野 久夫
		市政100年を迎えて 八王子の変遷	宮崎 浩平
野外サロン	4月27日	ガス科学館見学、南極・北極科学館見学	
閉講式	5月9日	特別講話 「映画制作の現場は戦場である」	岡田 裕氏 アルゴ・ピクチャー(株)社長

22回 生涯学習サロン カリキュラムと日程

平成30年2月22日～平成30年5月10日

開講式	2月22日	特別講話 「よりよく生きるとは」	橋本 五郎 氏 読売新聞特別編集委員
1週	3月8日	「医療機能分担と医療分担 歌声サロン 地球一周の船旅・その後 相続であわてないために今出来ること	久野 久夫 山形 忠顯 田中 信昭 内田 薫 氏
2週	3月22日	激動する習近平の中国を考察する フラダンスを楽しんで、ハワイを満喫 懐かしの映画とその音楽 (19) 和算ワールドを覗いてみよう	渋谷 文雄 梶原 幸恵 氏 立川 富美代 下山 邦夫
3週	4月12日	命を共に語り合うサロン 絵手紙 筆と墨に親しむ 野菜の生産・流通の現状 介護保険制度に基づく福祉用具	杉山 友一 池田 ときえ 大澤 敬之 岩島 寛
野外サロン	4月26日	学び舎の待ち待ち足利散策	
閉講式	5月10日	特別講話 「皇室のお姿～皇位継承問題を考える～」	竹元 正美 国際文化教育協会理事長

第23回 生涯学習サロン カリキュラムと日程

平成31年2月21日から令和元年5月9日

開講式	2月21日	特別講話 「再生医療って何だ」	赤池 敏宏 氏 再生医工学バイオマテリアル研究所長
1週	3月14日	八王子の医療施設 筆と墨を楽しむ その2 今、他人事でない災害に備えて 相続が変わる 40年ぶりの大改正	久野 久夫 池田 ときえ 須田 智文 氏・高橋 久夫 氏 内田 薫 氏
2週	3月28日	気になる年金のあれこれ おとなの朗読会 AIで激変するクルマの未来 絵葉書でみる八王子の100年	有田 進治 青羽 美代子 氏 持田 律三 村松 英二 氏
3週	4月11日	「薬の飲み方」「使い方」 懐かしの映画とその音楽 (20) 健康寿命を延ばすレクを楽しもう 「人生笑って完走」を目線に据えて	高取 和郎 立川 富美代 塩澤 迪夫 杉山 友一
野外サロン	4月25日	スカイツリーを中心に都心見学	
閉講式	5月9日	特別講話 「何歳になっても“能力“が伸びる秘訣」	菅原 道仁 氏 菅原脳神経外科クリニック院長

新型コロナウイルス感染拡大のため中止

第24回 生涯学習サロン カリキュラムと日程

令和2年2月27日から令和2年4月23日

開講式	2月27日	特別講話 「古びた心にみがきをかける」	村上 多美代 氏 Sista Lidwina、聖霊修道院、社会福祉法人聖霊会理事
1週	3月12日	安心な介護のために 絵手紙を楽しむ キャッシュレス社会がやってくる 歴史は語る ～大地震と富士山の噴火	根本 洋子・齊藤万里子 根本 照代 池田 ときえ 日本銀行金融アドバイザー 倉持 隆雄 氏
野外サロン	3月26日	感動と笑いを求めて 日本オリンピックミュージアム、鈴木演芸場	
2週	4月9日	おとなの朗読会 山本周五郎作「おもかげ」 懐かしの映画とその音楽 その21 八王子の偉人「Dr. 肥沼」を知っていますか？ 落伍者をつくらない教育支援の実践的取組み	青羽 美代子 氏 立川 富美代 塚本 回子 氏 深谷 正徳
3週	4月23日	知って安心！～年金・介護・医療・相続の最新情報 どうぞ、ひと、とき ～煎茶の世界へ！ 唯識から学ぶ人間の心 1964 東京オリンピック「自転車競技」 in 八王子記録映画鑑賞とお話	有田 進治 阿部 治子 土井 俊玄 西澤 幹夫 氏 河合 和郎
閉講式	4月23日	サロン第3週終了後 15時30分より	

② 八王子「宇宙の学校」の発展、充実

東京八王子プロバスケットボールクラブはその存在意義の一つとして、会員相互のこれまで蓄積してきた知識、経験などを地域社会のお役に立てるような活動に生かせるよう広く考えてきた。地域奉仕の一環として、「生涯学習サロン」は、すでに23回を数え、多くの参加者から、高い評価を得ているところである。

こういったなかで、当クラブの15周年記念事業の一環として、平成22年秋JAXA名誉教授的川泰宣博士の講演を、翌年春の例会の講話で「KU-MA（子ども・宇宙・未来の会の学校）が目指すもの、子供の科学する心に火をともし」を伺ったのち、平成23年に八王子「宇宙の学校」を立ち上げた。これが令和2年には第10回を迎える。技術立国が看板倒れとなりそうな今日、未来を拓す子どもに我々が残せるものとして取り組んできた。10年になるうとする中で、歴史を刻み、規模を拡大し、発展充実して来た。

八王子「宇宙の学校」は実行委員会組織で運営している。教育長を実行委員長として、八王子市教育委員会、東京八王子プロバスケットボールクラブ、八王子市、八王子商工会議所、大学コンソーシアム、八王子テレメディアおよび学識経験者をもって構成している。運営本部長をプロバスケットボールクラブの責任者とし、事務局を八王子市子ども科学館が引き受けている。

同時に、八王子「宇宙の学校」後援会も立ち上げられた。（これについて別項参照）

プロバスクラブでは、八王子「宇宙の学校」支援の会を組織し、金銭的支援、人的支援を進めることとし、多くの会員の支援を得てきた。

実行はプロバスクラブ内では、P Jとして専任、兼任のメンバーが主に実行し、全員から当日の協力者を得ている。プロバスクラブでは、ジェネラルスタッフ（G. S）としてボランティア募集、諸準備、テクニカルスタッフ（T. S）として開校の準備、ボランティアへの技術指導等を受け持っている。実行委員会の事務局としてのこども科学館の充実で、運営の細かな準備は科学館が主として、プロバスクラブは全般の計画立案などと、ボランティア募集、フォロー、及びボランティア活動への応援をしている。

八王子「宇宙の学校」が開校すると、4回のスクーリングで＝集まって実験、工作を行う＝。教材は、KU-MA、JAXA・宇宙教育センターの開発したものをを用いる。スクーリングの経験をもとに各家庭で身近な材料で実験、工作を進めて頂く。各家庭で学習するためのガイドブック（KU-MA経由JAXA提供）を配布する。対象は小学校1, 2年生とその保護者とでスタートした。今では1~3年生とその保護者を対象としている。

具体的な運営の状況については、八王子「宇宙の学校」後援会が年度レポートを発行して公表している。10年前に80組でスタートしたが、令和元年度は249組まで発展し延べ参加者数854組まで発展し、プロバスクラブの立ち上げた事業として誇れるものである。この中から日本の未来を背負う人材が出ると確信している。しかし、プロバスクラと言う高齢者の小団体が運営するのは限界があり、八王子市教育委員会こども科学館の事務局がしっかり実施サポートをさせていただいている今日である。

技術立国を求めてきたこの国であるが、その将来がどんどん枯れていくとさえ言われる今日、「宇宙の学校」のような未来への試みは、実に貴重である。更なる安定した「宇宙の学校」を継続していかねばならない。そのためには、運営を改革して、より大きな安定した実施組織とならねばならない。プロバスクラブの関係者も高齢化は免れない。全国の「宇宙の学校」を見ると、ボランティアの立上げ努力で出発しながら、継続できない悩みがあるように思われ、その開校数は横這いである。要員が不足する、費用の限界がある等が原因と思われる。八王子は教育委員会のサポートのもとに、こども科学館の有能な人材があつてここまで来た。さらに東京工科大、私立八王子学園八王子中学・高等学校など会場学校の絶大なサポートも頂いた。当日のスタッフとして創価大学、東京薬科大学のボランティアの方々の協力も得た。一プロバスクラブの限界を超え、長続きする「宇宙の学校」をめざして、新たな運営を求めたい。10年の実績はプロバスクラブの大きな勲章である。毎年実施レポートを発行している。

平成23年度以降の開校状況については次のとおりである。

- ・平成23年度 期間 10月30日～平成24年1月13日
会場 開講式 サイエンスドーム八王子
スクーリング 八王子教育センター
参加者 受入総数80組、延べスクーリング参加者数297組
- ・平成24年度 東京都立八王子桑志高校会場がスタートし、2会場に増え、募集定員も増加。
期間 10月7日～平成25年1月27日
会場 都立八王子桑志高校、八王子教育センター
参加者 受入総数129組、延べスクーリング参加者386組
- ・平成25年度 高校の会場が東京都立八王子北高等学校に変更。また小学校の第1学期に

開校をスタートすることとした。夏季休暇前の開校が望ましいからである。
なお台風のためスクーリングが1回欠となった。

期間 7月13日～11月16日

会場 都立八王子北高校、八王子教育センター

参加者 受入総数116組、延べスクーリング参加者329組

- ・平成26年度 東京工科大学会場がスタートし、飛躍的に応募が増加（やむなく抽選）募集定員を増やしたので、3年生を対象にした。

期間 7月6日～11月30日

会場 東京工科大学、都立八王子北高校、八王子教育センター

参加者 受入総数205組、延べスクーリング参加者661組

- ・平成27年度 東京工科大学会場80組、都立八王子北高校会場30組、八王子教育センター60組ですすめる。

期間 6月28日～11月8日

会場 東京工科大学、都立八王子北高校、八王子教育センター

参加者 受入総数203組、延べスクーリング参加者数737組

- ・平成28年度 東京工科大学会場96組、都立八王子北高校会場38組、八王子教育センター80組ですすめる。

期間 6月12日～11月13日

会場 東京工科大学、都立八王子北高校、八王子教育センター

参加者 受入総数214組、延べスクーリング参加者数839組

- ・平成29年度 東京工科大学会場90組、都立八王子北高校会場40組、八王子教育センター76組ですすめる。

期間 6月11日～11月12日

会場 東京工科大学、都立八王子北高校、八王子教育センター

参加者 受入総数206組、延べスクーリング参加者638組（台風中止あり）

- ・平成30年度 東京工科大学会場90組、都立八王子北高校40組、八王子教育センター76組ですすめる。

期間 6月10日～11月18日

会場 東京工科大学、都立八王子北高校、八王子教育センター

参加者 受入総数206組、延べスクーリング参加者数724組

- ・令和元年度 八王子学園八王子中学・高等学校会場がスタートし、参加者が更に増えた。東京工科大学会場90組、八王子学園八王子中学・高等学校88組、八王子教育センター71組ですすめる。

期間 6月9日～11月17日

会場 東京工科大学、八王子学園八王子中学・高等学校、八王子教育センター

参加者 受入総数249組、延べスクーリング参加者数854組

- ・令和2年度 東京工科大学会場90組、八王子学園八王子中学・高等学校会場88組、八王子教育センター64組で、6月6日より開催する予定であったが、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため中止した。（運営本部長 下山邦夫 記）

[八王子「宇宙の学校」の後援会活動]

JAXA 教育センターの傘下で NPO 法人 KU-MA が主宰する「宇宙の学校」の理念に共鳴し、科学する子供を地域で育てるという観点から八王子「宇宙の学校」を展開してから早くも 10 周年を迎えた。これはプロバス活動の大きな成果の一つと自負している。翻って、八王子「宇宙の学校」事業の今日の成功の要因は、組織を八王子市教育委員会（市こども科学館）とプロバスクラブを二本柱に据えた実行委員会方式とし、一方で発足と同時に事業を支える八王子「宇宙の学校」後援会を立ち上げて車の両輪を整えたことによる。後援会は事業のスタートに合わせて（株）スリーボンドにメインスポンサーを依頼し、併せて市内の団体・法人を中心に 50 件に及ぶ資金協力者（維持会員）を得たこと。更に、毎年度プロバスクラブ会長を代表に据えて「支援の会」を設置し、会員からの浄財提供を受けたことによる。また逐次事業年度の経過に従って事業レポートを発行し、その成果を八王子市に評価を求めて公の予算支援を要請してきた。お陰様で近年その一部が実現して「宇宙の学校」の事業基盤がより強固なものとなってきた。因みに、八王子市教育委員会は平成 27 年 3 月には JAXA と宇宙に関する教育の充実に向けた協定を締結し、以後、宇宙をテーマにした教育活動について、JAXA が ①学校教育、②社会教育、③教職員の研修等々で市を全面的に支援することとなった。こうした中で、八王子「宇宙の学校」は 10 年の間には年度の経過とともに開催会場の一部が双方の事情から時に変更を余儀なくされたこともあったが、都立桑志高校～都立北高～私学八王子学園へと新規会場開設の任も後援会が担ってきた。更にまた 10 年の間には人的な問題も発生してきていた。主因はプロバス会員の高齢化である。10 年前には気づかないことではあったが途中から高齢なプロバス会員に過重な肉体的な負担をかけずに済む方策の検討が急がれたのだ。この点で先ず手を打ったことは、八王子市と大学との地域連携を前提に市内所在の大学と交渉し、我々の活動に興味や意義を感じた大学生にボランティア（テクニカルスタッフ）としてお手伝い頂くことである。近年、主に創価大学・東京薬科大学の学生諸君にお世話になっているが、毎年度の安定を図るためにという趣旨から、彼らには当日の交通費、昼食提供のほか、後援会から些少なながらボランティア奨励費を支給してきた。以上が過去 10 年間の後援会活動の流れなのだが、この際、この 10 周年を機に更に一層「宇宙の学校」のより安定的な事業展開のありようを模索する中で、八王子「宇宙の学校」の令和 2 年度以降は、（株）スリーボンドの資金提供のご好意を得て、<スリーボンド「八王子宇宙の学校」>を掲げた冠事業として、新たなスキームの下でより発展的な歩みを開始することとした。また併せてこれを機に、八王子「宇宙の学校」後援会の従来手法の募金活動は全て終止させて頂くこととなった。今日までの関係各位のご尽力には只々感謝の言葉しかなく、衷心より御礼申し上げたい。なお、このことにより従来の八王子「宇宙の学校」後援会帰属の財産は新規組織の東京八王子プロバスクラブ八王子「宇宙の学校」後援会に引き継がれ、継続して「宇宙の学校」実行委員会を支えていくこととしている。今後の八王子「宇宙の学校」の事業総費用の基本的な賄いは、単年度毎に八王子市が受け持つ KU-MA への委託料支払い、実行委員会事業費として（株）スリーボンドの事業冠代金、参加者からの負担金の 3 本柱とした。かくして八王子「宇宙の学校」はクラブ創立 25 周年を機にまた新たなステージに立つこととなった。

（後援会 会長 杉山友一 記）

③ シニア・ダンディーズの活動

シニア・ダンディーズ最近5年の活動

12年前の発足当時の「ハニカミおじさん」という名前や程々の活動を卒業して本格的男声合唱団（シニア・ダンディーズ）として活動を始めてから10年が過ぎた。

今現在平均年齢 82 才としてのパワーや声量や技量を保ちもって練度を上げ続ける為には何か。それはやはりたゆまぬ練習あるのみである。最近5年位は地域に密着した活動が増え、夢であった「オリンパスホール」にも出演が出来た。数々の老人ホームへの訪問演奏も、入居者の喜ばれる顔が何よりも励みになる。

この合唱団が10年以上も練度を上げ活動を続けて来られました訳は3つある。

1. 指導者の充実 ～ 伴奏者の熱意ある指導とプロソリストの厳しい指導
2. 練習室の確保 ～ メンバーの中の寺院の練習室を毎週借用出来る
3. メンバーの努力 ～ 1年中毎週1回の練習を休まず努力

三つの他、強力なサポーターが外部に出演する時も必ず応援に来て支援をしてくれる大変恵まれたコーラスである。今後もワン・チームで色々な歌曲に挑戦し続け、地域に奉仕の出来る活動が出来ればと思っている。2020年に待望のCDを作成する予定でしたが、コロナ禍により2021年に延期となった。超高齢者コーラスの今の声を残したいとの思いがある。

2016年～2020年の5年間の活動報告

2006～2020年のプロバス学習サロンの閉講式後の交流会に毎回出演

- | | | |
|--------------|---|--------------------------|
| 2016. 5. 25 | 京王プラザホテル | 東京八王子南ロータリークラブ創立30周年の集い |
| 2016. 9. 5 | 京王プラザホテル | 全日本プロバス協議会第1回東日本ブロック交流会 |
| 2016. 10. 6 | 八王子エルシィ | NPO法人八王子体育協会70周年記念祝賀会 |
| 2016～2020 | 檜の里、ウエルハイムホーム | など9回訪問。 |
| 2017. 3. 22 | いちょうホール | 八王子警察署管内「防犯のつどい」ミニコンサート |
| 2017. 7. 17 | いちょうホール | 八王子市「社会を明るくする運動」出演 |
| 2017. 10. 21 | 八王子エルシィ | 八王子紫芳会創立19周年記念コンサート |
| 2017. 10. 28 | クリエイトホール | 八王子市主催 生涯学習フェスティバル29 |
| 2017. 11. 26 | いちょうホール | 大西宇宙飛行士講演会プレイベント |
| 2017. 11. 28 | 八王子エルシィ | 全日本プロバス協議会第2回東日本ブロック交流会 |
| 2018. 10. 27 | クリエイトホール | 八王子市主催 生涯学習フェスティバル30 |
| 2019. 1. 27 | オリンパスホール | 八王子商店連盟会主催「あきんど祭り2018」出演 |
| 2019. 9. 7 | いちょうホール | 八王子警察署主催「交通安全市民のつどい」出演 |
| 2019. 10. 4 | 横山町公園の舞台 | Dr. 肥沼顕彰会 ビール祭り |
| 2020. 3 | CD作成（日本工科大学八王子専門学校協賛）。コロナ禍の影響により2021年3月に延期。 | |

老人ホームへの慰問演奏

(団長 立川富美代 記)

4. 地域および全国プロバス協議会との交流・協調

① 「八王子いちちょうまつり」への協力

昭和2年から4年にかけて、八王子市の追分町から高尾駅入り口までの4Kmにわたる甲州街道(国道20号線)の両端に、大正天皇陵造営の記念として770本のいちちょうの木が植樹された。以来、いちちょう並木は日々変わりゆくふるさと八王子の街を見守りながら、四季おりおりに素晴らしい風景を演出してくれている。

特に、秋にはとても美しく黄葉し、いちちょう祭に最高の舞台を提供してくれます。八王子いちちょう祭は、昭和54年(1979)、我がクラブの大野聖二会員の提唱によって始められ、市民のための、市民参加による手作りのイベントとして、今年で41回目目を迎える。

我がクラブは創立3年後の平成10年(1998)から毎年20名を超す会員を派遣して積極的に支援してきている。

なお、大野会員は平成20年9月まで八王子いちちょう祭り祭典委員会会長として祭りの発展に尽力された。後任には当クラブの佐々木研吾会員が会長職を引き継ぎ、2019年退任した。

また、当クラブは祭典委員会の役員、あるいは参加団体の責任者として、多数の会員がいちちょう祭りの運営に貢献し運営を支えている。

テーマ(スローガン)及び来場者数は次の通り。

第30回(2009)「希望の唄、未来の扉」 302,000人

第31回(2010)「みつけよう、幸せの黄色いイチョウを」 338,000

第32回(2011)「大正百年記念」「届けよう元気を!八王子の地から」 281,000人
「東日本大震災復興支援」

第33回(2012)「33rd 未来を見詰めて発信!八王子の地から三国の結び」 322,000人

第34回(2013)「夢と歴史ロマン街道」「八王子八百年」 519,000人

第35回(2014)「いちちょう祭り世界発信!」「世界と人と国際交流」 521,000人
「東日本大震災復興支援」

第36回(2015)「Say YES! Start together! (YESをはじめよう!)」 552,000人

第37回(2016)「Say YES! Challenge together! (新しいことを試みよう!)」 493,000人

第38回(2017)「Say YES! Smile together! (みんな笑顔で!)」 503,000人

第39回(2018)「Say YES! Happy together! (みんなであわせに!)」 520,000人

第40回(2019)「Say YES! 40Years together! (みんなと友に40回を!)」 497,000人

② 「八王子市民健康フェスタ」への参加

健康フェスタは、毎年5月の第3日曜日に、富士森競技場とエスフォルタアリーナ八王子で開催され、八王子プロバスクラブは、「受付と案内」に人員を派遣し協力している。

この催しは「八王子健康づくり推進協議会」により運営されているが、この協議会は平成15年11月に設立され、12団体と2名の市民委員により構成されており、当クラブも参加している。

八王子市長が会長、事務局は八王子保健所、健康政策課健康づくり担当で構成されている。当日には、障害者の「福祉祭り」と「ヘルシーウォーキング」が同時開催され、多くの市民が参加し健康づくりのきっかけ作りとなっている。

③ 「八王子市民活動協議会」との連携

NPO 法人八王子市民活動協議会は平成 14 年に結成され、社会貢献に志し市民を対象とした相互連絡、運営活動の支援等を行なっている市民団体である。その連携事業として、毎年 2 回お父さんお帰りなさいパーティー「通称オトパ」を八王子南大沢地区は 9 月、市街地区は八王子労政会館で 3 月に、それぞれイベントが開催されている。令和 2 年度は新型コロナウイルスの発生に伴いイベントは中止された。

オトパは 50 歳を過ぎた皆様に地域で生き生きと過ごして頂くためのキッカケづくりである。八王子で元気に活動する種々の市民団体を紹介する地域の活動博覧会として、開催し、後援会・団体活動展・交流会の三部構成で展開しながら、毎年 200 名から 300 名の方々が来場されている。

当八王子プロバスクラブも、この事業に参画、協力し、出展団体として当会の PR 活動を行なうと共に新しい仲間の入会にも努めている。

④ 「Dr. 肥沼の偉業を後世に伝える会」への参加

第二次世界大戦直後、ドイツ・ヴリーツェン市にて献身的な治療で多くの人々の命を救い、自らもチフスにかかり 37 歳の若さでこの世を去った八王子出身の医師・肥沼信次の偉業を後世に伝える会（八王子ボランティアネットワーク主催、塚本回子代表）に我がクラブも 2016 年（平成 28 年）から協力会員として活動に参加している。2017 年 9 月には、市制百周年として八王子市と協力し、肥沼博士の顕彰碑を中町公園に建立した。2018 年及び 2019 年 10 月には、「お帰りなさい！ Dr. 肥沼」“ドイツの味覚と文化を楽しむ一日”を開催し、我がクラブからはシニア・ダンディーズ（男声合唱団）が協力出演した。2019 年には中学校の道徳教科書に肥沼博士の記事が杉原千畝氏と共に掲載された。

⑤ 全日本プロバス協議会・そのメンバーとの協調

東京八王子プロバスクラブは、平成 7 年(1995 年)10 月 18 日に設立され、今年、めでたく創立 25 周年を迎えたが、わが国では 20 番目、東京では 2 番目のクラブであり、その間、全日本プロバス協議会の構成員として、副会長職を担務し、全国大会の開催などの重要行事に参画するとともに、関東ブロックの活動や他クラブとの交流に、積極的に努力を重ねてきた。とりわけ、隣接クラブである多摩プロバスクラブおよび日野プロバスクラブとの交流については、相互のクラブ活動に参画するなど幅広く親睦に努めている。

[全国プロバス協議会平成 27 年 7 月以降 5 年間の主な活動]

(平成 27 年 7 月～28 年 6 月)

- ・ 11 月 19 日 日野プロバスクラブ創立 5 周年記念式典に参加
- ・ 11 月 20 日 全日本プロバス協議会第 7 回総会主席。北九州小倉
- ・ 11 月 21 日 全日本プロバス協議会全国理事会に出席
- ・ 3 月 6 日 埼玉浮き城プロバスクラブ創立 5 周年祝賀会参加

(平成 28 年 7 月～29 年 6 月)

- ・ 9 月 5 日 第 1 回プロバスクラブ東日本ブロック交流会実施
- ・ 11 月 7 日 多摩プロバスクラブ忘年会に会長以下 4 名出席
- ・ 11 月 29 日 全日本プロバス協議会第 7 回総会に参加
- ・ 1 月 12 日 新年懇親会開催。多摩プロバスクラブ倉賀野会長・日野プロバスクラブ小島会長出席
- ・ 鎌倉プロバスクラブ創立 15 周年行事に参加

(平成 29 年 7 月～30 年 6 月)

- ・ 7 月 18 日 新潟プロバスクラブ再設立。立川全日本副会長出席。
- ・ 11 月 28 日 「第 2 回東日本ブロック交流会」開催（八王子エルシィ）

(平成 30 年 7 月～令和元年 6 月)

- ・ 12 月 8 日 多摩プロバスクラブ忘年会に出席
- ・ 1 月 17 日 日野プロバスクラブ新年会に出席
- ・ 4 月 18 日 日野プロバスクラブ例会 100 回記念イベント
- ・ 4 月 19 日 埼玉浮き城プロバスクラブ訪問
- ・ 5 月 22 日 多摩プロバスクラブ創立 15 周年記念式典に出席

(令和元年 7 月～令和 2 年 6 月)

- ・ 9 月 12 日 「全日本プロバス協議会第 10 回総会（2022 年）」ホストクラブとして八王子を決定
- ・ 横濱まろにえプロバスクラブ創立 10 周年記念祝賀会に出席
- ・ 全日本プロバス協議会の会報「ひろば」の発行、ホームページ立ち上げなど活動の活発化にあわせて原稿提供

[隣接プロバスクラブとの交流]

隣接している東京八王子、多摩、日野の 3 クラブとの間で、一層の親睦、交流を深めるため、適時、「3 クラブ交流連絡会議」を開催し、クラブ運営に役立つ事項について協議を重ねている。会議の概要は以下の通りである。

- ・ 東京日野プロバスクラブと東京多摩プロバスクラブとの忘年会・新年会での交流

全日本プロバス協議会 一覧表

令和2年現在

都府県名	クラブ名	会員数	所在地
北海道	旭川	100	旭川市6条通8丁目
	はまなす	21	札幌市中央区
	千歳	30	千歳市青葉
青森	六ヶ所	9	上北郡六ヶ所村
	五所川原	26	五所川原市金山
福島	福島		福島市荒井
群馬	前橋	22	前橋市日吉町
	わたらせ	45	桐生市広沢町
	太田西	24	太田市粕川町
	群馬おうら	12	邑楽郡邑楽町
	沼田	29	沼田市中町
	高崎		高崎市上大類町
埼玉	本庄	10	児玉郡神川町
	埼玉浮き城	32	羽生市上新郷
千葉	四街道	16	四街道市和良
東京都	東京八王子	59	八王子市追分町
	東京多摩	36	多摩市連光寺
	東京品川	24	東京都品川区
	東京日野	35	日野市高幡
神奈川県	横濱	39	横浜市金沢区
	川崎西	31	川崎市高津区
	鎌倉	28	藤沢市鶴沼桜が丘
	神奈川・横須賀		横須賀市船越町
	横浜まろにえ		横浜市港南区
	横浜グリーン		横浜市青葉区
新潟	新潟	32	新潟市中央区
	柏崎	22	柏崎市東本町
	上越	15	上越市北城町
石川	プロバス松任	31	白山市末広
岐阜	大垣	40	大垣市小野
三重	鈴鹿西	32	鈴鹿市飯野寺家町
	四日市南	34	四日市市諏訪栄町
	松坂・鈴	30	松阪市若葉町
	はまゆう	20	伊勢市岩淵
	九華(くわな)	17	桑名市外堀
京都	プロバス京都	69	京都市伏見区
大阪	大阪	43	箕面市半町
	堺	19	堺市堺区
	松原	11	松原市天美南
奈良	奈良	29	奈良市右京
和歌山	日置川・清流会	25	西牟婁郡白浜町
	龍神	15	田辺市龍神村東
	本宮	13	田辺市本宮町

都府県名	クラブ名	会員数	所在地
兵庫	尼崎・琴壽会	28	尼崎市神崎町
	神戸北	15	神戸市北区
	加西	7	加西市北条町
	姫路	17	姫路市夢前町
	姫路南・二水会	31	姫路市城北新町
	上郡・清流会	17	赤穂郡上郡町
	赤穂	32	赤穂市加里屋
	宝塚中	10	宝塚市南口
	淡路	20	洲本市本町
	三田	3	三田市志手原
	伊丹	26	伊丹市宮ノ前
	篠山	22	篠山市二階町
	豊岡	28	豊岡市立野町
	小野・加東	27	小野市新部町
	高砂	11	高砂市高砂町
	西脇	23	西脇市西脇
	垂水	32	神戸市垂水区
	明石	16	三木市緑ヶ丘町
	加古川	23	加古川市加古川町
	神戸東	27	芦屋市松ノ内町
	柏原(かいばら)	20	丹波市春日町
相生	18	相生市旭	
滋賀	びわ湖大津		大津市堂
広島	福山	21	福山市木之丸町
山口	徳山	26	周南市東北山
福岡	北九州	54	北九州市八幡東区
	福岡城東	48	福岡市博多区
	田川	25	田川市位登
	みやこ	21	行橋市行事
	小郡	20	小郡市大保
長崎	壱岐	19	壱岐市勝本町
宮崎	えびな(穂波会)	39	えびの市小田
	小林	13	小林市堤
	桜川	23	西都市右松
	フェニックス		宮崎市宮田町
	都城霧島		都城市早鈴町
鹿児島	鹿児島南	16	鹿児島市堀江町
	指宿	13	指宿市東方
	阿久根	16	阿久根市脇本
	出水(いずみ)	15	出水市知識町
	高山吾平	19	鹿屋市吾平麓
	鹿児島西南	12	鹿児島市坂之上
	鹿屋	8	鹿屋市西原
	かのや東	11	鹿屋市共栄町